

国家試験に係る受験票の Web 発行システム構築・運用業務 委託仕様書

1. 件名

国家試験に係る受験票の Web 発行システム構築・運用業務委託

2. 目的

協会が行う高圧ガス製造保安責任者試験、高圧ガス販売主任者試験及び液化石油ガス設備士試験（以下「国家試験」という。）の実施に関する試験事務（以下「試験事務」という。）のうち、受験票の作成・交付については、受験願書又はインターネット申請を受け付けた後、圧着式はがきを作成し、受験者に郵送している。

インターネットで受け付けた申請については、受験票の交付もインターネットで行うことが、政府が進めるデジタル化社会に合致するものであり、受験者にとっても紛失や未着などのおそれがなく、利便性の向上に資するものとなる。

また、受験願書で受け付けた申請の受験票については、従来と同様、紙に印刷した上で、郵送することとなるが、インターネットで交付する受験票と様式を統一することで、試験事務の後に行う免状交付事務の効率的な実施に繋げることができる。

そこで、国家試験の受験票の様式を改め、受験票の Web 発行を行う仕組みを構築することで、受験者の利便性向上と受験票の作成・交付のデジタル化を実現することを目的とする。

3. 構築期間等

(1) 構築期間

契約締結日から令和8年3月31日（火）まで

(2) 運用期間

令和8年8月1日から令和9年3月31日まで（その後は1年間同一条件で自動継続）

（システム稼働期間は、毎年10月1日から国家試験日が属する月の末日まで）

4. 業務内容

インターネット申請した受験者が Web から電子化した受験票をダウンロードし、印刷することができるシステムを構築・運用する。なお、受験票 Web 発行システムに求める機能等の詳細は、「5. 受験票 Web 発行システムに係る要件」のとおりとする。

5. 受験票 Web 発行システムに係る要件

(1) システム要件

受験票 Web 発行システムに係るシステム要件は、下表1のとおり。

表1 システム要件

No	機能	必須 区分	システム概要
1	アプリケーション	必須	- Web 技術を利用したアプリケーションとすること。 - クライアント端末動作環境の PC、スマートフォン、タブレットに応じて、デバイスに適した画面表示となるようにマルチデバイス対応を行うこと。 - 構築開始時において業界標準または今後、業界標準になると想定される技術等を可能な限り採用すること。 - 画面は Web ブラウザの実行環境での使用を前提とし、利用者が容易に操作可能な標準的なデザインを適用すること。

No	機能	必須 区分	システム概要																				
1	アプリケーション	必須	・利用者の誤入力を防止するための対策を施すこと。 ・納品までに試験工程を十分に積み、ソフトウェアのバグを無くすこと。																				
2	通信プロトコル	必須	・データ送受信には一般的な通信プロトコルを使用すること。 ・適切な通信プロトコルを選択することにより、盗聴、改ざん等を防止すること。																				
3	動作環境	必須	①受験票 Web 発行システム動作環境 A. システム構成 a. サーバ類は運用管理受託者が所有または賃借したものを協会が賃借する。 b. 受講者と協会および運用管理受託者はインターネット接続とする。 B. サーバ動作環境 a. データベースおよび各ミドルウェアは特定のメーカーに依存しないオープンな市販パッケージを使用すること。 b. 導入するサーバは、信頼のおける時刻サーバから時間の同期をとること。 c. クラウドサービスを利用する場合は、十分な稼働実績を有し、運用の自動化、サービスの高度化、情報セキュリティの強化、新機能の追加等に対して積極的かつ継続的な投資が行われ、サービス終了のリスクが低いものであること。																				
			②クライアント端末動作環境 A. クライアント端末動作条件 a. 利用者に対して専用端末や特定の周辺機器を用意させる必要がないこと。 b. 次の動作環境で利用できること。 ○ユーザ機能 <table><tr><th>機器</th><th>OS</th><th>ブラウザ</th></tr><tr><td>PC</td><td>Windows 10以降</td><td>Microsoft Edge Google Chrome</td></tr><tr><td rowspan="2">スマートフォン</td><td>iOS 14以降</td><td>Apple Safari</td></tr><tr><td>Android 10以降</td><td>Google Chrome</td></tr><tr><td>タブレット</td><td>iPadOS 16以降</td><td>Safari</td></tr></table> ○運用管理者機能 <table><tr><th>機器</th><th>OS</th><th>ブラウザ</th></tr><tr><td>PC</td><td>Windows 10以降</td><td>Microsoft Edge Google Chrome</td></tr></table> ※ブラウザのバージョンは、最新バージョンとする。 ※スマートフォンの動作検証を行うこと。	機器	OS	ブラウザ	PC	Windows 10以降	Microsoft Edge Google Chrome	スマートフォン	iOS 14以降	Apple Safari	Android 10以降	Google Chrome	タブレット	iPadOS 16以降	Safari	機器	OS	ブラウザ	PC	Windows 10以降	Microsoft Edge Google Chrome
			機器	OS	ブラウザ																		
PC	Windows 10以降	Microsoft Edge Google Chrome																					
スマートフォン	iOS 14以降	Apple Safari																					
	Android 10以降	Google Chrome																					
タブレット	iPadOS 16以降	Safari																					
機器	OS	ブラウザ																					
PC	Windows 10以降	Microsoft Edge Google Chrome																					
任意	※対応可能であることが望ましい受講環境 OS : macOS 11 以降 ブラウザ: Mozilla Firefox																						
3	動作環境	必須	③ その他 Web ブラウザ以外のソフトウェアの導入が不要であること。また、画面の操作性などが、直感的に操作可能であり、利用者にわかり易く設計されていること。																				
		必須	① 受験票の Web 発行に係る処理 A. 多数の受験者による同時アクセスが想定されるため、発行処理を支障無くできるようにすること。																				
4	システムの性能	必須																					

No	機能	必須 区分	システム概要
4	システムの性能	必須	B. ハードウェア・OSなどのロックを回避する機能を有すること。 C. 発行期間を設けるが、発行途中に発行期限を超えた場合でも発行処理を支障なくできるようにすること。 ② ハードウェア A. 拡張性およびパフォーマンス調整の手段として、CPU、メモリ、ディスクの増設などが可能な機器を選択すること。 B. 機器構成および固有の機器の有効なバックアップ手段を提案すること。 C. 耐用年数は、5年以上を目安とする。 D. クライアントの同時アクセス可能台数は、表4 国家試験出願者数（過去3年間）を考慮した台数とすること。 E. クラウドサービスを利用する場合は、上記A～Dの要件をすべて満たしていること。
5	システム管理	必須	運用管理者を適切に管理するために、次の対応をすること。 ① 運用管理者情報管理 A. ログインID、パスワード管理等 運用管理者をログインID・パスワード、その他有効と思われる方法で管理できること。 B. 権限管理 運用管理者区分ごとに権限設定ができること。権限区分は、システム管理者、システム検証者、システム利用者、サポートアカウントとする。 ② マスタ管理 運用管理を行う上でマスタ化が必要なものについては、協会と協議の上、マスタ化し管理できること。
6	セキュリティ	必須	① アクセス制御 A. 運用管理者 運用管理者が受験票Web発行システムへアクセスする際、IDとパスワードによる本人認証とそれに応じた権限でのアクセス制御を行い、受験票Web発行システム機能の利用範囲を制御できること。 協会指定のグローバルIPアドレスからのみのアクセスも可能とすること。 B. 受験者 受験者が、受験票Web発行システムにアクセスする場合には、ログインIDとパスワードのみによる認証とする。 認証方式を柔軟に変更可能なソフトウェア構造とすること。 受験者がパスワードを忘れた場合には、リマインダー等の機能を受験票Web発行システムに装備し、安全な方法で通知可能とすること。 ② インターネットセキュリティ 受験票Web発行システムはインターネットを利用したシステムであるため、一般的なインターネットセキュリティに配慮したシステム構成とすること。 ・通信はSSLによる暗号化通信により実現すること。 ・不正侵入検知装置（IDS）により不正アクセスの監視と検知を実現すること。 ・セキュリティ対策としてWeb Application Firewall（WAF）を導入すること。 ・信頼性向上のため、必要な機器については冗長化する等の措置を講ずること。 ・必要なサーバ機器のディスクはRAID構成とする。 ・OS、ミドルウェア製品にはセキュリティに配慮された製品を選定すること。

No	機能	必須 区分	システム概要
6	セキュリティ	必須	・公開されるサーバはWWWサーバのみとし、DMZセグメントに設置すること。アプリケーションについては、公開用セグメントではなく内部セグメントに設置されるサーバに搭載されるものとする。 ・セキュリティ監査に必要なログの採取が可能であること。 ・個人情報等で特に重要と思われるものについては、暗号化ソフトウェアを利用するなどしてデータの機密保持に努めるようにすること。 ③ システム間連携 システム連携を行うため生成される中間ファイルの盗聴、改ざん、消却を防止するための措置を講じること。 ④ コンピュータウイルス対策 ・コンピュータウイルスによる障害に対して適切な予防措置を講ずること。 ・ウイルスによる障害に対して行ったデータやファイルの削除等が発生した場合、適切なエラー処理やリカバリー処理を行うこと。 ・ウイルス感染した場合は、当該ウイルスの情報（ウイルス種別等）を識別し、感染データの隔離またはウイルス駆除を実施する等の措置を講ずること。 ・ウイルス感染・駆除の事実をシステム運用管理者に通知し、必要に応じて受講者にも通知すること。 ・ウイルスパターンの更新が随時可能であること。 ⑤ 公開サーバの開発 ・公開サーバの構築及び改修は、外部の悪意のある第三者からの不正アクセス、改ざんを受けないよう情報セキュリティを考慮した仕様とし、以下に準拠した開発を行うこと。 A. IPA「セキュア・プログラミング講座」 B. IPA「安全なウェブサイトの作り方」 ・受験票Web発行システムを開発する環境は、運用環境と分離すること。 ・新規にプログラムを開発し、これを公開しようとするときは、外部の悪意のある第三者からの攻撃の可能性について検証するため、作成者以外の外部専門家による脆弱性診断を受け、必要な措置を講じること。 ※パッケージ化されたプログラムに改修を加えるときは、パッケージ化されたプログラムについて、作成者以外の外部専門家による脆弱性診断を受けたことの証明ができること。
7	UI	必須	① 画面仕様に対する基本方針 受験票Web発行システムで取り扱う画面は、3. ②クライアント端末動作環境で示すWebブラウザの実行環境での使用を前提としたWeb画面を基本とする。画面構成は、タイトル位置、トップページのリンクへの位置、ヘルプ等、基本的な配置について共通ルールを定め、使用者の混乱を最小限に抑えるよう画面設計上、考慮すること。また、画面のサイズは、XGAとし、横スクロールバーの使用を不要とすること。 ② 文字コード A. UIとしての文字コード シフトJISを基本とすること。 B. 外字 JIS第二水準までをサポートすること。機種依存文字および外字については対応しない。

No	機能	必須 区分	システム概要
7	U I	必須	③ 性能要件（受験者の操作） A. 受験者応答レスポンス 受験者端末において、送信データの応答レスポンスは、5秒以内とする（混雑時、ネットワークによる遅延は除く。）。 B. 運用管理者応答レスポンス 運用管理者が受験票発行状況の画面表示をするまでの応答レスポンスは、5秒以内とする（混雑時、ネットワークによる遅延は除く。）。 C. 操作支援 操作に関する支援機能として画面上で、操作説明、処理手順、進行中の処理項目を提供又は表示できるようにする。 誤入力防止のため誤った入力があった場合、エラー箇所を表示すること。
8	拡張要件	必須	受験票 Web 発行システムに求められる次の機能の拡張について、柔軟に対応できるように設計上、考慮すること。 ① 受験者が使用する機能 ・ 可否通知機能 など ② 運用管理者が使用する機能 ・ メール送信機能 など
9	導入準備	必須	① インストール作業 受験票Web発行システムの構築後、インストール、設定作業を行うこと。 ② 動作確認試験 テスト仕様書を作成の上、以下の動作確認試験を行うこと。試験結果については試験結果報告書をまとめて報告し、協会の承認を得ること。システム上の問題点が発見された場合、迅速に解決を図ること。 ・ インターネット等を使用した環境下での動作確認試験 ・ 実環境下でのシステム動作確認試験 ③ セキュリティ検査 動作確認後、構築した受験票 Web 発行システムを対象としたセキュリティ検査のためのテスト仕様書を作成し、セキュリティ検査を実施すること。検査結果は、検査結果報告表として取りまとめて報告し、承認を得ること。セキュリティ上の問題点が発見された場合、迅速に解決を図ること。
10	稼働時間	必須	アクセス可能期間中は、原則、24 時間稼働するものとする。ただし、計画停止など、事前に運用停止について合意した場合はその限りではない。
11	その他	任意	・ 受験者にとって使いやすく・分かりやすいシステムとなるよう工夫すること ・ 運用管理者が受験票の作成・交付事務を効率的に運用できるよう、充実した管理機能を取り入れること

(2) 機能要件

受験票 Web 発行システムに係る機能要件は、下表 2 のとおり。

表 2 機能要件

No.	機能	利用者	必須区分	機能概要				
1	受験者情報登録	協会	必須	- 協会が提供する定められたフォーマット（CSV形式）を用いて受験票Web発行システムに登録すること。 ※フォーマットの項目は、別紙2参照 - 登録及び変更は、事業者にて実施すること。（協会も登録及び変更ができることとする。） - 対象年度以外の受験者情報は、物理削除すること。				
2	ログイン／ログアウト機能	受験者	必須	- 協会が提供するユーザID及びパスワードを用いてMYページに初回ログインできること。（法人担当者は、法人ID及びパスワードとする。） - ログアウトできること。 - MYページは、個人申込と法人申込で区別すること。 - 法人申込者のMYページには、すべての受験者を表示し、受験者ごとに受験票にアクセスすることができること。 ※法人申込の受験者の受験票は、法人担当者が印刷若しくはダウンロードの上、各受験者に配布若しくは送信する。				
			任意	- 顔認証による本人確認 ※将来的な実装を踏まえ、現時点で対応が可能または機能追加が可能であること。				
3	メールアドレス／パスワード変更機能	受験者	必須	受験者及び法人担当者がメールアドレスと初回に割り当てられたパスワードを変更することができること。				
4	問合せフォーム機能	受験者	必須	協会の問い合わせフォームのURLを埋め込んだボタンを配置すること。				
5	メール配信機能	受託者協会	必須	- 協会が提供するテンプレートに基づき、3回程度、受験者へユーザID、初期パスワード及びアクセス用URL等を含んだメールを送信すること。（書面申請者を除く。） - 例：プレメール、発行通知メール、リマインドメール など ※メールには受験者情報の項目のうち、必要とする項目を差し込むこと。 - メール送信日は、将来の年月日を予約設定できること。 - 協会が作成した文章を、対象とする受験者あてにメール配信できること。 - 協会がエラーメールの確認を行うことができる仕組みを設けること。				
6	インフォメーション機能	受験者	必須	- インフォメーションが複数登録できること。 - 例：受験にあたって（試験種類ごとに異なる。） など				
7	受験票発行	受験者	必須	- 受験票の発行は、申込区分に応じて、それぞれ次のとおり行うこと。 ①個人申込 受験者ごとにマイページを設け、マイページ内で発行する。 ②法人申込 法人担当者ごとにマイページを設け、マイページ内で法人申込に紐づくすべての受験者の受験票を受験者ごとに発行する。 ※一括印刷も可能とすること。 - 受験者が発行方法を迷うことがないよう、受験票の発行ボタンを設けること。 - 受験票は、協会が提供する下図1及び2のフォーマットを用いること。 - 受験票には、次のフォーマットの種類に応じた受験者情報を差し込むこと。				
				種類	試験区分	試験の種類	受験者情報	
				①	高圧ガス製造保安責任者試験	- 甲種化学 - 甲種機械 - 乙種化学 - 乙種機械 - 丙種化学（特別） - 丙種化学（液石） - 第一種冷凍機械 - 第二種冷凍機械 - 第三種冷凍機械	差込情報は、別紙2を参照 ※受験する必要のない試験科目欄には、***を表示すること。 ※全科目免除者については、写真貼付欄に***を表示すること。	
						高圧ガス販売主任者試験		- 第一種販売 - 第二種販売
								筆記試験
				②	液化石油ガス設備士試験	技能試験	※本委託業務の対象外。	
- 差込文字の文字化けや文字抜けなどが生じないよう、PDFファイルを画像として印刷できるようにすること。 - 受験票の発行状況に応じて、「未読」若しくは「既読」の表示を行うこと。 - 協会が提供する試験の種類ごと試験会場ごとに異なる試験会場案内図(PDF形式)を、次ページに紐づけて表示すること。								

No.	機能	利用者	必須区分	機能概要
8	受験者情報等管理機能	協会	必須	・受験者ごとに受験票の発行の有無（発行ボタンを押下した時間など）がわかるように画面上に操作ログ時間を表示すること。 ・試験の種類ごとに受験票の表示期間を設定することができること。 ・受験者情報は、手動で削除できること。 ・受験者ごとに受験票の発行状況を一覧化し、CSV形式で出力できること。 出力項目は、次のとおり。 ① 受験年度（和暦） ② 受験番号 ③ 試験の種類 ④ 受験科目 ⑤ 試験日（和暦） ⑥ 試験会場 ⑦ 試験教室 ⑧ ねじ切り機（電動又は手動） ⑨ 氏名（カナ） ⑩ 氏名（漢字） ⑪ 生年月日（和暦） ⑫ 科目名_科目1 ⑬ 試験時間_科目1 ⑭ 出欠確認欄_科目1 ⑮ 科目名_科目2 ⑯ 試験時間_科目2 ⑰ 出欠確認欄_科目2 ⑱ 科目名_科目3 ⑲ 試験時間_科目3 ⑳ 出欠確認欄_科目3 ㉑ 写真貼付欄 ㉒ 表示期間 ㉓ 受験者の受験票ダウンロードの操作ログ日時
9	ヘルプデスク機能	受験者	必須	（共通） ・開設場所は、国内とする。 ・運用期間中は受付要員5名以上及び管理者1名を手配すること。 ※受付要員及び管理者は、問い合わせや協会への報告について、円滑で明解な受け答えができる者とするが、専任でなくてもよい。 ※増員するときは、事前に協会の承諾を得ること。 ・運用期間は、受験票発行可能日から国家試験日までの土日祝日を除く平日9時から18時までとする。ただし、国家試験日前日と当日は、土日祝日に限らず、9時から18時まで運用すること。 ※上記以外でやむを得ず運用を行わない期間が生じるときは、1か月前までにその旨を申し出て、協会の承諾を得ること。 ・業務内容は、国家試験に係る受験票Web発行システムの利用方法、障害発生時等に関する電話問い合わせへの対応、その他付帯業務とする。 ・要員の力量は、国家試験に係る受験票Web発行システムを熟知し、受講者からの問い合わせにも迅速に対応できる者であり、かつ、ログイン方法等、PCやスマートフォンの取扱いに慣れており、問い合わせをしてきた受験者に対し、適切な案内ができることとする。 （コールセンター） ・回線数及び電話機は6名以上が対応できる数とする。 ※電話機及び回線は専用でなくてもよい。 ・月間の問い合わせ想定件数は、300件/月とする。 ※想定件数を超過した場合の1件あたりの金額を示すこと。 （書面申請者への受験票の書面発行の代行） ・国家試験の書面申請者に受験票Web発行システムで生成した受験票を書面で送付すること。 ・送付対象者数は、下表5を参照（技能試験を除く。） ・再送は対象外とする。 ・送付方法は、A4サイズの受験票（検定会場地図を含む。）に送付状を添えて、角2封筒に同梱の上、普通郵便で行うこと。 ・送付時期は、受験票発行開始通知のメール送信日を目安とすること。
			任意	・協会が指定する月に応じた受付要員の変動ができること。 ・増減した月は、要員が対応できる回線数及び電話機を手配すること。 ・チャットボットなどの機能を活用することにより、コールセンター要員に対する問い合わせ件数を削減できる場合は、コールセンター要員の数を減じることができる。ただし、この場合でも、受付要員5名以上が対応したときの品質を確保することとする。
			必須	（E-mail） ・問い合わせに対する回答は、受付日の翌営業日までにを行うこと。 ・月間の問い合わせ想定件数は、100件/月とする。 ※想定件数を超過した場合の1件あたりの金額を示すこと。

(3) データ量要件

取扱対象となるデータ量は、現時点では下表3 データ量要件のとおりである。

表3 データ量要件

No.	データ	必須 区分	データ項目
1	業務プロセス	必須	受験票発行に係る業務フロー図は、別紙1を参照 ※委託対象範囲は、別紙1の赤色破線枠内
2	マスタ類	必須	提供する受験票情報は、別紙2を参照 ・その他 必要に応じてマスタを作成すること
3	科目免除申請区分	必須	試験の種類ごとの科目免除申請区分は、別紙3を参照
4	・試験の種類 ・受験科目の区分 ・出願者数(過去3年間)	必須	試験の種類ごとの過去3年間の出願者数は、下表4を参照
5	受験票発行のご案内書面の印刷及び発送対象者数	必須	印刷及び発送対象者数は、下表5を参照
6	アクセス可能期間	必須	・受験票掲載期間は、10月から11月までとする。 ※具体的なアクセス可能期間については、別途、協議の上、契約で定めることとする。 ・システムの日次、月次等のメンテナンス時を除き、24 時間アクセス可能とする。
7	国家試験日	必須	毎年の国家試験の実施日は、次のとおり。 ・筆記試験：11月第2日曜日 ・技能試験：筆記試験日から3週間後の日曜日(受験票 Web 発行の対象外) ※過去 10 年間の国家試験日は、下表 6 を参照
8	業務量	必須	毎年の出願者数は、上記過去3年間の出願者数を十分考慮して、運用に支障のないよう注意すること
9	データ量	任意	取扱データ量が業務に及ぼす影響について、具体的な対応策を示すこと

表4 国家試験出願者数(過去3年間)

No.	試験の種類	受験科目の区分	令和4年度				令和5年度				令和6年度					
			出願者数	受験者数	合格者数	合格率	出願者数	受験者数	合格者数	合格率	出願者数	受験者数	合格者数	合格率		
1	甲種化学	全科目受験	552	378	88	23.3%	568	412	110	26.7%	516	367	68	18.5%		
		法令免除	20	13	4	30.8%	21	16	7	43.8%	15	12	6	50.0%		
		保安管理技術免除及び学識免除	685	674	564	83.7%	529	521	487	93.5%	476	471	376	79.8%		
		全科目免除	3	3	3	100.0%	5	5	5	100.0%	3	3	3	100.0%		
		計	1,260	1,068	659	61.7%	1,123	954	609	63.8%	1,010	853	453	53.1%		
2	甲種機械	全科目受験	949	686	187	27.3%	1,062	780	213	27.3%	1,020	727	126	17.3%		
		法令免除	10	7	5	71.4%	10	9	7	77.8%	9	7	2	28.6%		
		保安管理技術免除及び学識免除	856	840	668	79.5%	565	544	492	90.4%	619	604	433	71.7%		
		全科目免除	8	8	8	100.0%	7	7	7	100.0%	11	11	11	100.0%		
		計	1,823	1,541	868	56.3%	1,644	1,340	719	53.7%	1,659	1,349	572	42.4%		
3	第一種冷凍機械	全科目受験	1,059	733	268	36.6%	994	663	238	35.9%	924	599	147	24.5%		
		保安管理技術免除及び学識免除	691	678	635	93.7%	493	485	453	93.4%	561	553	452	81.7%		
		計	1,750	1,411	903	64.0%	1,487	1,148	691	60.2%	1,485	1,152	599	52.0%		
		乙種化学	全科目受験	1,972	1,693	472	27.9%	1,865	1,622	386	23.8%	1,977	1,702	408	24.0%	
		法令免除	56	53	26	49.1%	48	44	19	43.2%	41	38	22	57.9%		
4		保安管理技術免除及び学識免除	656	644	552	85.7%	649	634	544	85.8%	637	624	492	78.8%		
		全科目免除	10	10	10	100.0%	15	15	15	100.0%	16	16	16	100.0%		
		計	2,694	2,400	1,060	44.2%	2,577	2,315	964	41.6%	2,671	2,380	938	39.4%		
		5	乙種機械	全科目受験	4,424	3,752	1,057	28.2%	4,377	3,691	822	22.3%	4,408	3,749	893	23.8%
				法令免除	57	48	29	60.4%	37	33	16	48.5%	40	34	21	61.8%
保安管理技術免除及び学識免除	1,143			1,112	977	87.9%	1,097	1,079	940	87.1%	1,016	999	795	79.6%		
全科目免除	11			11	11	100.0%	9	9	9	100.0%	6	6	6	100.0%		
計	5,635			4,923	2,074	42.1%	5,520	4,812	1,787	37.1%	5,470	4,788	1,715	35.8%		
6	丙種化学（液石）	全科目受験	2,925	2,377	300	12.6%	2,657	2,128	357	16.8%	2,501	2,019	244	12.1%		
		保安管理技術免除及び学識免除	927	909	884	97.2%	1,061	1,056	983	93.1%	985	977	784	80.2%		
		計	3,852	3,286	1,184	36.0%	3,718	3,184	1,340	42.1%	3,486	2,996	1,028	34.3%		
		7	丙種化学（特別）	全科目受験	3,100	2,679	675	25.2%	2,985	2,556	625	24.5%	2,855	2,466	421	17.1%
				保安管理技術免除及び学識免除	2,289	2,247	1,982	88.2%	2,419	2,381	2,146	90.1%	2,310	2,285	1,598	69.9%
計	5,389			4,926	2,657	53.9%	5,404	4,937	2,771	56.1%	5,165	4,751	2,019	42.5%		
8	第二種冷凍機械			全科目受験	2,813	2,201	718	32.6%	2,567	1,949	648	33.2%	2,235	1,692	481	28.4%
				保安管理技術免除及び学識免除	799	775	647	83.5%	629	610	507	83.1%	606	593	453	76.4%
		計	3,612	2,976	1,365	45.9%	3,196	2,559	1,155	45.1%	2,841	2,285	934	40.9%		
		9	第三種冷凍機械	全科目受験	10,308	8,305	1,890	22.8%	9,700	7,891	3,146	39.9%	9,275	7,605	2,744	36.1%
				保安管理技術免除及び学識免除	1,487	1,426	1,259	88.3%	1,645	1,596	1,351	84.6%	1,432	1,388	1,237	89.1%
計	11,795			9,731	3,149	32.4%	11,345	9,487	4,497	47.4%	10,707	8,993	3,981	44.3%		
10	第一種販売			全科目受験	2,491	2,217	1,029	46.4%	2,594	2,285	1,043	45.6%	2,686	2,402	608	25.3%
				法令免除	50	48	42	87.5%	84	84	77	91.7%	49	46	37	80.4%
		保安管理技術免除	520	514	457	88.9%	435	421	386	91.7%	499	491	274	55.8%		
		全科目免除	18	18	18	100.0%	21	21	21	100.0%	20	20	20	100.0%		
		計	3,079	2,797	1,546	55.3%	3,134	2,811	1,527	54.3%	3,254	2,959	939	31.7%		
11	第二種販売	全科目受験	5,116	4,559	1,689	37.0%	4,867	4,343	1,402	32.3%	4,795	4,317	1,520	35.2%		
		高圧法免除	57	54	36	66.7%	37	37	16	43.2%	55	50	27	54.0%		
		液石法免除	470	436	204	46.8%	445	413	187	45.3%	435	397	166	41.8%		
		高圧法・液石法免除	2	2	2	100.0%	2	2	0	0.0%	1	1	1	100.0%		
		保安管理技術免除	1,676	1,632	1,469	90.0%	1,874	1,846	1,547	83.8%	2,116	2,090	1,781	85.2%		
		高圧法及び保安管理技術免除	167	164	157	95.7%	146	142	94	66.2%	176	174	170	97.7%		
		液石法及び保安管理技術免除	279	269	247	91.8%	277	272	238	87.5%	267	262	227	86.6%		
		全科目免除	175	175	175	100.0%	143	143	143	100.0%	166	166	166	100.0%		
		計	7,942	7,291	3,979	54.6%	7,791	7,198	3,627	50.4%	8,011	7,457	4,058	54.4%		
12	液化石油ガス設備士 （筆記試験）	全科目受験	1,495	1,355	569	42.0%	1,397	1,248	459	36.8%	1,550	1,414	614	43.4%		
		計	1,495	1,355	569	42.0%	1,397	1,248	459	36.8%	1,550	1,414	614	43.4%		
		合計	50,326	43,705	20,013	—	48,336	41,993	20,146	—	47,309	41,377	17,850	—		
		13	液化石油ガス設備士 （技能試験）	全科目受験	—	552	443	80.3%	—	446	343	76.9%	614	605	463	76.5%
				筆記免除（前年度不合格者）	132	125	97	77.6%	93	91	69	75.8%	84	82	65	79.3%
計	132			677	540	79.8%	93	537	412	76.7%	698	687	528	76.9%		
合計	132			677	540	—	93	537	412	—	698	687	528	—		
総計	50,458			44,382	20,553	—	48,429	42,530	20,558	—	48,007	42,064	18,378	—		

※ No.13は、本委託業務の対象外。

表5 国家試験申請種別ごとの受験票の発行方法及び通知方法

	電子申請※1			書面申請※1		計
	発行方法	通知方法	発行数※2	発行方法	発行数※2	
筆記試験	Web	メール	45,782	書面	1,527	47,309
技能試験※3	筆記試験合格者※4	はがき (圧着式)	583	書面	31	614
		はがき (圧着式)	77	書面	7	84
	前年度以前の筆記試験合格者					
計			46,442		1,565	48,007

※1 書面申請は、Webで生成した受験票（検定会場地図を含む。）を印刷の上、書面で発行する。

※2 発行数は令和6年度実績の値

※3 技能試験は、本委託業務の対象外とする。

※4 筆記試験合格者の受験票は、可否通知書と一体となった書面で発行している。

表6 国家試験日(過去10年間)

	平成28年度 (2016FY)	平成29年度 (2017FY)	平成30年度 (2018FY)	令和元年度 (2019FY)	令和2年度 (2020FY)	令和3年度 (2021FY)	令和4年度 (2022FY)	令和5年度 (2023FY)	令和6年度 (2024FY)	令和7年度 (2025FY)
筆記試験※1	11月13日(日)	11月12日(日)	11月11日(日)	11月10日(日)	11月8日(日)	11月14日(日)	11月13日(日)	11月12日(日)	11月10日(日)	11月9日(日)
技能試験※2、3	12月4日(日)	12月3日(日)	12月2日(日)	12月1日(日)	11月29日(日)	12月5日(日)	12月4日(日)	12月3日(日)	12月1日(日)	11月30日(日)

※1 筆記試験日は、毎年11月第2日曜日

※2 技能試験日は、筆記試験日から3週間後の日曜日

※3 技能試験は、本委託業務の対象外とする。

令和〇年度 ① 受験票

受験番号	②
試験の種類	③
受験科目	④
試験日	⑤ 和暦表示
試験会場	⑥
試験教室	⑦
氏名	⑨ (フリガナ) 氏名 ⑩
生年月日	⑪ 和暦表示

※ 受験者により異なる

※ 全科目免除の場合、*で埋める

※ 試験科目が異なる場合、*で埋める

(写真貼付欄)

※ 受験者本人の顔写真を貼付してください。写真のサイズは縦横35mm×45mmで、白背景のものを貼付してください。また、写真の裏面に「令和〇年度 〇〇県立自動車学校 受験生」と記載してください。

試験時間

⑫

出欠確認欄

⑮

試験時間

⑬

出欠確認欄

⑯

試験時間

⑭

出欠確認欄

⑰

※ 受験者本人の顔写真を貼付してください。写真のサイズは縦横35mm×45mmで、白背景のものを貼付してください。また、写真の裏面に「令和〇年度 〇〇県立自動車学校 受験生」と記載してください。

※ 試験科目が異なる場合、*で埋める

受験上の注意

- 試験教室への集合時間（厳守）
 - 全科目受験の方：午前9時
 - 法令免除の方：午前10時40分
(第二種販売は、高圧法及び流石法の両方が免除の方のみ)

注意：・試験開始から30分を超えて遅刻した方は、その後の試験を受けることができません。

 - 試験会場案内図欄に記載がない限り、試験会場には受験者の用駐車場はありません。
- 試験当日持参するもの
 - 受験票（所定の写真（パスポートサイズ）を貼付したもの）

注意：・受験年度内の交付申請に限り、貼付した写真を免状用として使用します。

 - 免状交付において写真が免状写真として不適当な場合には差替えをお願いすることがあります。
- 不正行為対応の厳格化
 - 試験中の携帯電話、スマートフォン、PHS、スマートウォッチ等の通信機能を有する電子機器、また、電子辞書、タブレット等の記憶機能を有する電子機器の使用及び作動を禁止
 - 試験開始前、上記の電子機器の電源をOFFにし、鞆等に収納
- その他の注意事項
 - 試験会場案内図は、次ページをご確認ください。
 - 試験問題用紙と答案用紙は退室時に全て回収します。
 - 試験中は試験監督員の指示にしたがい受験してください。指示にしたがわないとき、不正行為が判明したときは、試験は失格となります。



※ 上図の差込情報①～⑧については、別紙2を参照

※ 受験票のデザインは、変更する可能性がある。

図 筆記試験受験票〔例〕

6. セキュリティ要件

セキュリティについては、十分に考慮し、対策を講じたシステム及び業務体制であること。

- ① 個人情報の漏洩を起こさない安全対策が実施されていること。
- ② 過失により、個人情報を含む秘密漏えいを起こしていないこと。過去、重大性に関わらず個人情報の取扱いに関して事故があった場合は、その再発防止策が実行され、有効性等について評価済であること。
- ③ 従業員に対する請負データの取扱い、秘密保持に関する適正な指導がなされていること。
- ④ 原則として下請けをさせず、自らで請負業務を処理しうること。
- ⑤ 事故発生時、責任割合に応じた責任を負担しうること。
- ⑥ 契約終了時、個人情報を全て返却し、電算機等に残ったデータを全て復元できないよう適切に廃棄、消去等すること。
- ⑦ プライバシーマークの取得、その他これに準じる認証を有すること。¹
- ⑧ 全てのデータは、必要最低限の担当者のみがアクセスできるように制御することとし、ログイン証跡を全て取得しうること。
- ⑨ 脆弱性対策として、都度情報を収集し、継続的なセキュリティの向上に努めていること。
- ⑩ ウィルス対策として、全社の PC にウィルス対策ソフトを導入していること。
- ⑪ 不正アクセス、盗聴、ネットワークへの侵入等の防止策として、ファイアウォール等を導入し、適切に管理すること。
- ⑫ 全社の PC にログイン時、パスワードロックを設定していること。

7. 運用管理要件

7.1 サーバ等の設置場所、高負荷防止、管理及び障害時対応

(1) サーバ等の設置場所

個人情報を保存するサーバは、国内に設置することとする。

(2) サーバ等の高負荷防止

障害を発生させないよう、次の事項等について検討、検証が行われていること。

- ① 受講者数に応じた同時アクセス対策
- ② サーバ等の高負荷防止対策
- ③ 上記についてのエビデンス（客観的データ、第三者の評価等）

(3) サーバ等の管理及び障害時対応

次のとおり、管理及び対策を行うこと。外部サーバを活用する場合にあっても、同等以上の管理、対応がなされるものであること。

なお、障害発生時の対応については、24 時間体制で行うこと。

- ① サーバ設置場所は常時施錠し、担当者のみ入室を許可する等、適切に管理すること。
- ② アクセスログ、操作ログ等が確認しうること。
- ③ システムの負荷状況を監視し、アラートを発報しうること。
- ④ バックアップルールを制定して運用すること。なお、サーバは冗長化するとともに、本業務関係の全てのデータは、最低 1 年間保存すること。
- ⑤ 管理体制、障害時対応、連絡体制等のルールを定め、その体制図を提出すること。
- ⑥ 事故発生時、責任割合に応じた責任を負担しうること。

¹ ISMS に関する一般的な基準である JIS Q 27001:2023 (ISO/IEC 27001:2022) に基づく認証のほか、クラウドサービスカスタマ及びクラウドサービスプロバイダのための情報セキュリティ管理策の実施を支援する指針である JIS Q 27017:2016 (ISO/IEC 27017:2015) やパブリッククラウドにおける個人情報保護に関する指針である ISO/IEC 27018:2019 に基づく認証等。

7.2 問い合わせ対応

協会からの当該システムに関する問い合わせ（利用方法、障害発生時等）に、電話や E-mail 等により対応すること。

7.3 マニュアル等

協会（システム管理者）向けには、操作・運用マニュアルを、受験者向けには、受験者が利用する受験票 Web 発行システムの画面上に操作方法を明示することとし、内容を協会と協議の上、作成すること。

7.4 任意事項

協会に起因しない事由（Web ブラウザのバージョンアップによるシステムバージョンアップや法令改正による試験種類の増加対応など）によりシステム上対応しなければならない事項についての無償対応可能な範囲を定めること。

8. 業務実施体制等

8.1 業務実施体制

（1）事務所の所在地について

本業務に係る事務所の所在地は、東京都区内にあること。

（2）業務従事者について

① 本業務に係る責任者を配置すること。

② 情報セキュリティに関する知識を有する者を配置すること。

③ 上記①及び②を含む業務従事者は、担当する業務への関与の度合いに応じて、本件業務に係る十分な経験、実績を有する者であること。

④ 上記、実施体制図を協会に提出すること。

（3）受託者は、構築業務に係る全体の詳細スケジュールを作成し、進捗管理、品質管理、課題管理等、本件業務の履行に必要な管理を行うこと。

（4）定期的に進捗状況等を報告する打合せを実施すること。打合せ後は速やかに議事録を作成し提出すること。

なお、打合せ及び議事録作成に代わる進捗状況等の管理手段がある場合は、内容を適切と判断した場合、その管理手段も認める。

（5）必要な検証内容を精査し、検証項目を定め、検証項目に沿って検証作業を行うこと。

8.2 再委託

① 本件業務の全部または主要業務を一括して第三者に再委託することを禁止する。

② 受託者は、やむを得ない事情により再委託を行う場合には、あらかじめ再委託の相手方の住所、氏名、再委託を行う業務の範囲、再委託の必要性及び契約金額等について記載した書面を協会に提出し、承認を受けること。

③ 受託者は、再委託した業務についてもすべての責任を負うこと。

9. 納品要件

（1）構築業務

① 受験票 Web 発行システムのプログラム一式

機能要件を網羅した環境を構築することをもって納入とする。

② 納品物

・プロジェクト実施計画書

・プロジェクト進捗管理表

・テスト仕様書（テスト計画書、テスト仕様書、テスト成績書等）

・機器用仕様書（ハードウェア構成、ハードウェア仕様、ソフトウェア構成、システム構築手順等）

・マニュアル（受講者用操作マニュアル、管理者用システムマニュアル）

(2) 運用業務

- ① 受験者登録から受験票発行までの確認ができること。
(国家試験日の2か月程度前まで)
- ② 協会が提供する受験者情報及び受験票の登録を行い、受験票を発行するための環境の準備が完了した状態であること。
(国家試験日の1か月程度前まで)
- ③ 受験票発行者及び未発行者のデータをダウンロードできること。
(都度)
- ④ 問い合わせ内容を取りまとめた月間報告書を提出すること。
(毎月末日以後、1週間以内)
- ⑤ 定例の業務報告会を開催すること。
(1週間に1回程度、原則、Web会議方式で実施)

(3) 納品先

〒105-8447 東京都港区虎ノ門4-3-13 ヒューリック神谷町ビル

特別民間法人高压ガス保安協会 試験・教育事業部門 業務管理グループ

10. 検収要件

納品物が、本仕様書を満たしているか否かについて、上記9 納入時に検収を行う。

- ① 本仕様書を含め、構築過程、データの整理で協議等した内容を全て満たしていること。また、検収後に指摘した改修事項等が全て反映されていること。
- ② 構築したシステム全体の仕様について、成果物として書面でも納品すること。なお、成果物の所有権・使用権は、協会が有するものとする(パッケージソフトを利用した場合は、開発・追加・修正を行った部分のみとする。)
- ③ 検収の結果、全部または一部が不合格となった場合には、協会の承認を得て、あらためて指定する日時までに改修等を行うこと。その後、再度検収を行う。
- ④ 受託者は、協会が確実かつ合理的に検収を行えるようサポートを行うこと。

11. システムの保証要件

- ① 納入物が正常に動作することを保証すること。
- ② システムの障害発生等によるサービスの停止に際し、復旧に迅速な対応を行うこと。なお、障害発生時は、その重大性に関わらず協会と協議し、必要な場合は、承認した対応策を直ちに適用すること。ただし、大規模自然災害等に伴う場合は、この限りでない。
- ③ 納入物に関するセキュリティパッチ及びアップデートの適用について、速やかに協会に情報提供するとともに、システムが正常動作することを保証すること。
- ④ 運用管理及び障害対応の結果、成果物の内容に変更が生じた場合は、都度、再納入すること。

12. 費用見積と費用計上の範囲

本件業務の費用計上の範囲及び条件は、次のとおりとする。

(1) 構築業務の見積

- ・ 構築費として、総額を示すものとする。
- ・ 導入準備・研修など期間・日数・回数など条件を伴う場合は、条件を明記するものとする。
- ・ 構築環境に必要なソフトウェア及びハードウェアは受託者にて用意するものとする。

(2) 運用業務の見積

- ・月額固定費・月額変動費・スポット費用に分けて示すものとする（分け方については任意）。また、概算費用として年間費用の総額を示すこと。
- ・運用に必要なソフトウェア及びハードウェア・ネットワークは受託者にて用意するものとする（ライセンスなどは除く。）。

13. 対価の支払方法

(1) 構築費の支払条件

納入後、協会が行う検査に合格したときに本件業務が完了し、協会に請求することができる。

(2) 運用業務委託費の支払条件

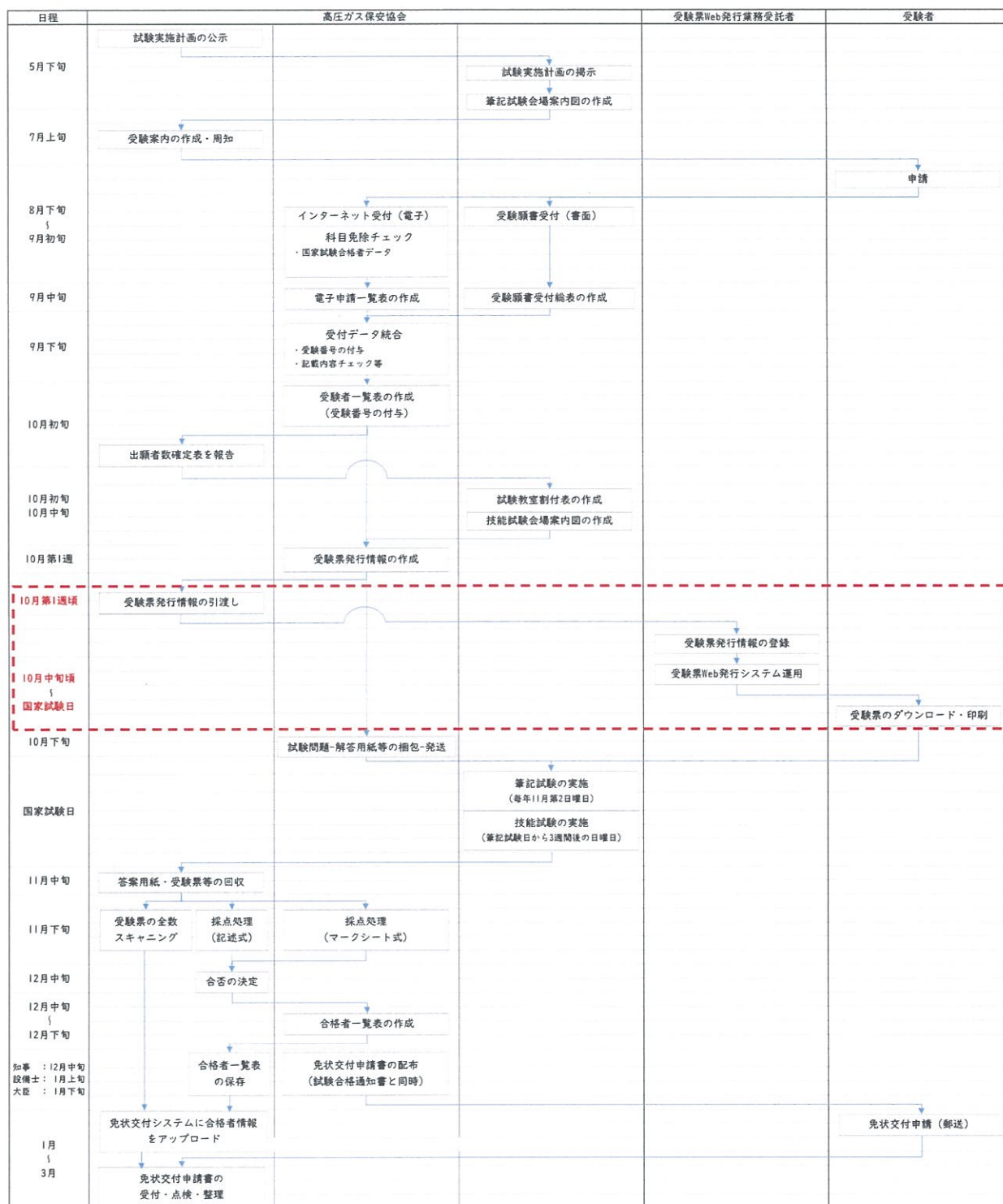
国家試験日を終えた試験の種類ごとに受験票発行者情報及び未発行者情報を作成し、協会に納品した後に請求することができる。

14. その他

- ・受託者は、本仕様書に疑義が生じた場合は、その都度協会と協議を行うこと。
- ・本件業務の実施に当たっては、条例、規則、関係法令等を遵守すること。
- ・構築業務及び運用管理業務で新規に作成されるソフトウェア・データ及び付随する設計書・各種書類についての所有権・使用権は協会に帰属するものとする（パッケージソフトを利用した場合は、開発・追加・修正を行った部分のみとする。）。
- ・納入物に係る著作権（著作権法第 27 条及び第 28 条の権利を含む。ただし、本契約締結日現在、受託者、受託者以外の第三者の権利対象となっているものを除く。）は、契約金額以外の追加支払なしに、その発生と同時に受託者から協会に譲渡され、協会単独に帰属する。受託者は、協会が求める場合には、著作権証の作成等、譲渡を証する書面の作成に協力すること。
- ・受験票 Web 発行システムは、運用管理する受託者のデータセンターに設置し、運用管理することを前提とした構築をすること。

以上

業務フロー図



国家試験受験者情報(案)

No.	項目名	文字種	最大桁数	項目備考	CSVデータ引渡時期 受験票Web発行時
1	受験票発行システムユーザID	半角	14	例：西暦下2桁+回次+EX+受験番号	10月第1週頃 (予定)
2	受験票発行システム初期パスワード	半角	8	講習会用の初期パスワード採番ルールに則って付与	
3	年度(西暦)	半角	4	例：2025	
4	年度(和暦)	全角	5	例：令和〇年度	
5	回次	半角	1		
6	都道府県コード	半角	2		
7	都道府県名	全角	4		
8	ユーザID	半角	9	年度(西暦下2桁+試験種類コード2桁+シーケンス番号5桁)	
9	整理番号	半角	10	申請区分1桁+会場コード3桁+試験講習種類2桁+シーケンス番号4桁 ①申請区分1桁 E：電子(インターネット申請) P：書面(受験願書) ②会場コード3桁 前2桁：都道府県コード 後1桁：会場シーケンス ③試験講習種類2桁 試験種類コード ④シーケンス番号4桁 申込順に割り振られる	
10	受験番号	半角	11	ハイフン付	
11	申込手段	全角	2	電子/書面	
12	試験地コード	半角	3		
13	試験地名	全角	定義中	例：札幌市 神奈川県	
14	試験種類コード	半角	3		
15	試験種類名	全角	定義中		
16	免除区分コード	半角	2		
17	科目免除申請区分名	全角	13	※受験票の受験科目に対応	
18	試験日(和暦)	全角	11		
19	試験会場名	全角	定義中		
20	試験教室名	全角	定義中		
21	ねじ切り機区分コード	半角	1		
22	ねじ切り機区分	全角	2	手動/電動	
23	氏名(姓+名)漢字	全角	定義中		
24	氏名(姓+名)カナ	全角	定義中		
25	戸籍謄本区分	半角	定義中		
26	生年月日(和暦)	全角	11		
27	メールアドレス	半角	定義中		
28	郵便番号	半角	9	ハイフン付	
29	住所1+2	全角	定義中		
30	勤務先名	全角	定義中		
31	電話番号1	半角	12	ハイフン付	
32	電話番号2	半角	12	ハイフン付	
33	講習修了番号	半角	10		
34	科目名_科目1	全角	***の 文字数は 協議の上 決定	受験科目以外の場合は、***を表示	
35	試験時間_科目1	全角		受験科目以外の場合は、***を表示	
36	出欠確認欄_科目1	全角		受験科目以外の場合は、***を表示	
37	科目名_科目2	全角		受験科目以外の場合は、***を表示	
38	試験時間_科目2	全角		受験科目以外の場合は、***を表示	
39	出欠確認欄_科目2	全角		受験科目以外の場合は、***を表示	
40	科目名_科目3	全角		受験科目以外の場合は、***を表示	
41	試験時間_科目3	全角		受験科目以外の場合は、***を表示	
42	出欠確認欄_科目3	全角		受験科目以外の場合は、***を表示	
43	写真添付欄	全角		次の者の場合、***を表示 ・全科目免除者 ・液化石油ガス設備士試験のうち、筆記試験免除者以外	
44	口座番号	半角	10	バーチャル口座番号 銀行名：三井住友銀行 支店名：関東第一支店(968) 口座番号：57XXXXX～ 60XXXXX～	
45	請求金額	半角	定義中		
46	入金年月日	半角	8		
47	入金額	半角	定義中		
48	入金確認コード	全角	3	1：入金確認済 2：未入金/未確認 3：不足 4：過入金	
49	申込形態	全角	2	個人/法人	
50	法人ID	半角	6	100001～ 法人登録を行うごとに割り当てられる	
51	法人整理番号	半角	6	100001～ 法人申込1回ごとに一つ割り当てられる	
52	法人名	全角	6		
53	法人担当部署名	全角	定義中		
54	法人担当者(姓+名)漢字	全角	定義中		
55	法人担当者(姓+名)カナ	全角	定義中		
56	法人郵便番号	半角	9	ハイフン付	
57	法人住所1+2	全角	定義中		
58	法人電話番号	半角	12		
59	法人FAX番号	半角	12		
60	法人メールアドレス	半角	定義中		
61	法人固定口座番号	半角	10		
62	法令得点	半角	2		—
63	法令合否	全角	1	X/O/免	—
64	保安管理得点	半角	2		—
65	保安管理合否	全角	1	X/O/免	—
66	学識得点	半角	3		—
67	学識合否	全角	1	X/O/免	—
68	配管理論得点	半角	2		—
69	配管理論合否	全角	1	X/O/免	—
70	最終合否	全角	2	欠席/合/否	—

※ 項目数、文字種および最大桁数については、既存の事業者と定義中であるため、変更の可能性あることを考慮すること。

試験種類コード・免除区分コード・科目免除申請区分別一連番号

No.	試験種類 コード	試験の種類	免除区分 コード	科目免除申請区分	科目免除申請区分別一連番号	試験科目			
						法令	保安管理技術	学識	配管理論
1	151	甲種化学	13	無	0001～1999	○	○	○	—
			01	法令免除	2001～3999	—	○	○	—
			02	保安管理技術免除	4001～5999	○	—	○	—
			03	保安管理技術及び学識免除	6001～7999	○	—	—	—
			12	全科目免除	8001～9999	—	—	—	—
2	152	乙種化学	13	無	0001～1999	○	○	○	—
			01	法令免除	2001～3999	—	○	○	—
			02	保安管理技術免除	4001～5999	○	—	○	—
			03	保安管理技術及び学識免除	6001～7999	○	—	—	—
			12	全科目免除	8001～9999	—	—	—	—
3	153	丙種化学（液石）	13	無	0001～1999	○	○	○	—
			02	保安管理技術免除	4001～5999	○	—	○	—
			03	保安管理技術及び学識免除	6001～7999	○	—	—	—
4	154	丙種化学（特別）	13	無	0001～1999	○	○	○	—
			03	保安管理技術及び学識免除	6001～7999	○	—	—	—
5	155	甲種機械	13	無	0001～1999	○	○	○	—
			01	法令免除	2001～3999	—	○	○	—
			02	保安管理技術免除	4001～5999	○	—	○	—
			03	保安管理技術及び学識免除	6001～7999	○	—	—	—
			12	全科目免除	8001～9999	—	—	—	—
6	156	乙種機械	13	無	0001～1999	○	○	○	—
			01	法令免除	2001～3999	—	○	○	—
			02	保安管理技術免除	4001～5999	○	—	○	—
			03	保安管理技術及び学識免除	6001～7999	○	—	—	—
			12	全科目免除	8001～9999	—	—	—	—
7	157	第一種冷凍機械	13	無	0001～1999	○	○	○	—
			02	保安管理技術免除	4001～5999	○	—	○	—
			03	保安管理技術及び学識免除	6001～7999	○	—	—	—
8	158	第二種冷凍機械	13	無	0001～1999	○	○	○	—
			02	保安管理技術免除	4001～5999	○	—	○	—
			03	保安管理技術及び学識免除	6001～7999	○	—	—	—
9	159	第三種冷凍機械	13	無	0001～1999	○	○	—	—
			02	保安管理技術免除	4001～5999	○	—	—	—
10	160	第一種販売	13	無	0001～1999	○	○	—	—
			04	法令免除	2001～3999	—	○	—	—
			05	保安管理技術免除	4001～5999	○	—	—	—
			12	全科目免除	8001～9999	—	—	—	—
11	161	第二種販売	13	無	0001～1999	法・液法	○	—	—
			06	高圧法免除	2001～2999	液法	○	—	—
			07	液石法免除	3001～3999	法	○	—	—
			08	高圧法・液石法免除	4001～4999	—	○	—	—
			09	保安管理技術免除	5001～5999	法・液法	—	—	—
			10	高圧法及び保安管理技術免除	6001～6999	液法	—	—	—
			11	液石法及び保安管理技術免除	7001～7999	法	—	—	—
			12	全科目免除	8001～9999	—	—	—	—
12	162	液化石油ガス設備士	13	無	0001～1999	液石	—	—	○
			12	筆記試験免除（前年度の筆記試験合格者）	2001～3999	—	—	—	—